

2003年度から毎年市内全戸に配布。差別解消に向けて絶賛発行中!

おおいた人権啓発広報誌

# Let's キズナ

2021年3月1日号

大分市

完全  
保存版

～心の距離を空けないで～



やめようえ! コロナ差別



Let's じんけん!

おおいた人権啓発広報誌

Let's  
キズナ

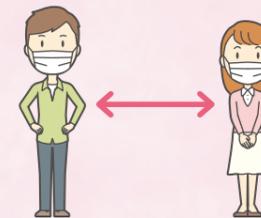
発行 2021年3月1日  
お問い合わせご意見ご感想  
大分市福祉保健部 人権・同和対策課 電話 097(537)5618

## 何気なく使っていませんか? 「ソーシャル・ディスタンス」

現在、「ソーシャル・ディスタンス」という言葉は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、「対人距離の確保」を呼びかける言葉として定着しています。

しかし、この言葉は、世界の一部の地域において特定の集団を差別するために使われてきた経緯があります。また、世界保健機関(WHO)では「身体的、物理的距離の確保」を意味する「フィジカル・ディスタンス」に言い換えるよう推奨しています。

大分市では、このようなことから「ソーシャル・ディスタンス」という言葉ではなく、「身体的距離の確保」を使用することとしています。



「身体的な距離をとっても、心の距離は空けないで…」

## 見逃さない! 差別書き込み!



インターネットモニタリング中

インターネット上では、部落差別に関する悪質な書き込みや新型コロナウイルス感染症に関するデマやフェイクニュースなどが問題となっています。そのような書き込みを見て誤った認識や偏見を持ってしまうと、心の中に差別意識が芽生えてしまい、新たな差別につながります。

このようなことから、インターネット上の誤った情報によるマイナスイメージの拡散を防ぐため、悪質な書き込み等を監視し、差別情報の早期発見や削除要請を行う「モニタリング事業」が、大分市をはじめ多くの自治体で実施されています。モニタリングは、誰もがインターネットを安心して使うために必要な活動なのです。

## インターネット上での 誹謗・中傷等相談専用窓口を開設しました

### 1人で悩まずご相談ください

- 大分市人権・同和対策課 ..... 537-5618
- 大分市旭町文化センター ..... 546-2772
- 大分市人権啓発センター(ヒューレおおいた) ..... 576-7593
- 大分市人権・同和教育課 ..... 537-5651

- その他の相談窓口
- インターネット上で人権を侵害されたら  
みんなの人権110番(大分県方法務局人権擁護課) 0570-003-110
  - 学校でのいじめ、虐待など子どもに関する相談  
子どもの人権110番(大分県方法務局人権擁護課) 0120-007-110
  - エデュ・サポートおおいた(大分市教育センター) ..... 533-7744
  - サイバー犯罪の被害に遭ったり、遭いそうになった方  
最寄りの警察署 大分中央警察署 ..... 533-2131  
大分東警察署 ..... 527-2131  
大分南警察署 ..... 542-2131

インターネット上の誹謗・中傷などで困ったことが起きたら  
インターネット違法・有害情報相談センター <https://www.ihaho.jp/>  
誹謗中傷ホットライン <https://www.saferinternet.or.jp/>  
警察庁インターネット安全・安心相談サイト <https://www.npa.go.jp/>

インターネットは、今や私たちの生活になくなくてはならないものとなりましたが、使い方を間違えたり、悪意を持って使ったりすると「凶器」にもなります。実際に、インターネット上の掲示板や SNS 等では、相手を誹謗・中傷する内容が書き込まれ、他人の人権を侵害する事例が後を絶たないばかりか、命にかかわる深刻な事態も引き起こしています。

大分市においても、ネットいじめや差別的な情報が書き込まれるなど、多くの人権侵害事例が起こっており、インターネットの正しい利用方法や一人ひとりのモラルが問われています。

インターネット上の悪質な書き込みや誹謗・中傷などでお悩みの際は、相談専用窓口を開設いたしましたので、ご相談ください。



画面の向こうにも **人** がいることを想像しよう!

相手を傷つけないためにも、自分自身を守るためにも、情報を発信する前には「その書き込みに責任が持てるのか」「その書き込みを見た人がどう感じるだろうか」と考えることが大切です。

# 「忘れてはいけな こと」とは

私たちの周りでも...

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染症に関わる人やその家族等に、差別や偏見、いじめを行うなどの人権侵害が全国各地で起こっています。大分市でも、感染者だけでなく、ウイルス検査で陰性だった人やその家族、医療従事者等に対して、誹謗・中傷、入店拒否、家族の登園・登校の拒否、電話や投書等の嫌がらせ、根拠のないうわさ話などの差別的言動が報告されており、差別意識の解消が急務となっています。



## なぜ偏見や差別が起こるの？

誰もが、見えない未知のウイルスに対して、強い不安や恐れを感じてしまいます。心の中に芽生えた不安や恐れは、不確かな情報や根拠のないうわさ等により、知らず知らずのうちに膨らみ、人々から冷静な判断力を奪っていきます。このようにして、「あの人は感染者にちがいない」と決めつけ、嫌悪したり遠ざけたりするなど、社会の中に偏見や差別が生まれてしまうのです。

私たちの社会では、これまでも部落差別（同和問題）をはじめ、ハンセン病に関わる人やHIV感染者等への偏見・差別、東日本大震災で避難した人へのいじめなど、根拠のない思い込みや知識不足、誤った認識等による人権侵害が繰り返されてきました。

## 偏見や差別が起こる構図

見えない・知らないものへの不安や恐れ

- ・ウイルス
- ・放射能
- ・罪悪感 など
- ・病原菌
- ・迷信

特定の対象(人・地域・職業など)を「悪」と見なす

- ・あの人、あの地域には近づくな
- ・〇〇に勤めている人は危ない など

それらを差別(攻撃)し遠ざけることで、不安を解消しようとする

偏見や差別をなくすためにはどうすればいいだろう

## 今、私たちに大切なことは？

### 【相手の気持ちを考えて行動しよう】

もし、あなたやあなたの身近な人が感染して不安を抱える中で、「近寄るな」など、心ない言葉を浴びせられたらどう感じますか？相手の立場に立つてこれまでの自分の言動を振り返るとともに、**思い込みや偏見にとらわれていないか、自分自身を見つめ直し、冷静に行動することが大切です。**

### 【正しい情報収集に努めよう】

新型コロナウイルス感染症については、まだまだ分からない部分が多くあります。特にインターネット上は、真偽が不確かな情報で溢れています。そのような情報に惑わされ、必要以上に不安や恐れを抱かないためにも、行政等が発信する**正しい情報の収集に努めること**が大切です。

### 【温かく迎えられる社会を作ろう】

誰にでも感染の可能性があります。感染した人を責めても何も解決しません。感染した人たちは、身体だけではなく心も辛い状況にあるため、早く元気になるように励まし、治って戻ってきたときには**温かく迎え入れる**社会の雰囲気をつくることが大切です。

## ストッパー！

## コロナ差別

相手の立場に立ち助け合うことが大事なんだね



## 心の距離を空けないで...

一日も早く平穏な日常を取り戻すことはみんなの願いです。しかし、差別された側にとつては、たとえ感染症が収束しても、差別を受けたという心の傷は消えないため、差別した人を遠ざけるようになってしまいます。その結果、新型コロナウイルス感染症に関連した差別が、心の分断を生んでしまいます。

誰がいつどこで感染するか分からない状況の中、「自分も差別をする側・される側になるかもしれない」と意識して行動するとともに、**心の距離**が離れないよう相手を深く思いやり、支え合う気持ちを持つことが求められています。

差別をなくし、新型コロナウイルス感染症を収束させるための力ぎは、私たち二人ひとりの「意識」であり、「心」なのです。



J:COM ホルトホール大分北側玄関口に掲示中



## 【コラム】思いやりの心と温かい言葉

市内の保育所にお子さんを預けているお母さんが、ある日PCR検査を受けることになったそうです。そのお母さんは「まさか自分が検査を受けることになるなんて...」「もし陽性だったら...子どもや保育所の人にうつしたらどうしよう...」と、不安を抱えながら、検査を受けることを保育所に連絡しました。すると、保育所の先生は「お母さん、話してくれてありがとうございます。不安だったでしょう？勇気がいりましたよね。」「体調は大丈夫ですか？心配

な事があったらいつでも連絡してくださいね。」といった言葉をかけてくれたのです。

冷たくされたり、子どもの登園を拒否されたりすることを心配していたお母さんは、予想外の温かい言葉に、思わず涙してしまいました。

この先生の対応にはマニュアルがあったわけではありません。相手の立場に立ち、お母さんの不安な気持ちを想像することができたからこそ、自然と温かい言葉が出てきたのではないのでしょうか。

